

令和3年3月27日

文部科学省初等中等教育局
教科書課長 神山弘殿

日本の明日を考える会
八王子人材育成歴史市民塾
塾頭 澤井直明

山川出版社の中学歴史教科書の「従軍慰安婦」記述の削除申し入れ書

前略

取り急ぎ要用のみ申し上げます。

日本国民の過半が、醜悪な歴史の改竄で日本を貶める隣国の振舞いに嫌悪感を持ち始めております。折も折、御省は歯車を狂わせたかのように、「従軍慰安婦」という捏造語を復活させた山川出版社の中学歴史教科書を公認しました。萩生田文科大臣は、“専門的学問的”に調査したと答弁しました。しかし、人々は知っています。「慰安婦は、合法的に存在していたが、国から俸給を頂く従軍の慰安婦の存在は無かった。」と、このことは専門的に調べなくても素人でもわかることです。第一、朝日新聞が捏造を白状し、社長が辞任している周知の事実があり、吉田清治は、自著を捏造したものであることを認めています。

国民の教育の頂点に立つ御省が、国辱となる捏造用語を“専門的学問的、”と言い放つ不正義が教育行政の中で起きているのです。安倍元総理が「従軍慰安婦」の資料は見つからなかったと明言した国会答弁は、日本国の正式な主張です。日本の教育再生を梃にして、選挙で当選した萩生田議員は、文科大臣になった今、安倍元総理に反旗を翻し、国益を損ねる形で、穴あきの教科書検定に味方しました。私自身は、八王子市の選挙民として、応援した一人として驚き困惑し、大変恥ずかしい思いをしています。八王子の朝起き会に集うご婦人方の思いも同様に「萩生田さんどうしたのですか？と切ない思いを寄せています」。

また、自由社の教科書に、「生徒が理解し難い・誤解する」のオンパレードで意味不明の検定意見を付けたり、同じ記述に他社は合格、自由社は不合格（同じ回答したにも関わらずA君はOK、B君はNGのいじめ）の御省この姿勢は、PTA・教師・生徒たちにとって受け入れがたいものでしょう。

朝日新聞が嘘を認め謝罪した捏造語を令和の時代になって、子供達の教科書に復活させたことは、当に「国民が理解しがたい」のです。これらに関与した教科書検定調査官・歴史小委員会・歴史審議会委員の責任は大変重く、我が国の尊厳を汚すものです。山川出版社に対して「従軍慰安婦」の教科書からの削除とミスリードし無理に連動させた本文の訂正を求めるものです。現在日本に生きる国民の公僕としての御省の勤めでもあると思えます。ご英断を頂きたく切にお願い申し上げます。

早々